

福岡市交通局

100%再生可能エネルギー由来電力で運行開始（地下鉄初！！）

福岡市地下鉄は、令和7年4月1日から全路線の使用電力を **100%再生可能エネルギー由来**の電力に切り替え、実質的にCO₂排出量ゼロで運行しています。

これにより、年間で約**3万8千トン**のCO₂排出削減^{※1}（一般家庭の電力使用に伴う年間CO₂排出量に換算すると約2万6千世帯分^{※2}に相当）が見込まれます。

※1 CO₂排出係数を0.406とした場合 ※2 一般家庭の年間使用電力量を3600kWhとした場合



交通局はこれまでも、下水熱を利用した空調設備の設置、省エネ車両の導入、駅照明のLED化など、環境負荷低減の取り組みを進めてまいりました。

今後も、持続可能な社会の実現に向け、CO₂排出量の削減や省エネルギー施策を積極的に推進してまいります。

環境負荷低減の主な取り組み

下水の温度は、外の温度変化の影響を受けにくく、一年を通してほぼ一定であることを活かし、七隈線博多駅では下水熱交換器を設置し、駅の空調に利用しています。



下水熱の空調活用イメージ



下水熱交換器

ホーム・コンコースなどの駅照明やトンネル内照明、駅構内の電照広告のLED化を推進しています。



4000系車両では「同期リラクタンスモーター」の採用により、電力使用量を低減しています。



同期リラクタンスモーター

<問い合わせ>

福岡市交通局 施設車両部 電気課
電話：092-732-4145